

GHP（ガスヒートポンプ）空調からの更新について

GHP（ガスヒートポンプ）空調から更新する場合の申請において、提出書類である「見込削減効果試算表（別記様式第2号）」では、消費電力のみによる比較のため、温室効果ガス排出量の削減効果が表れない場合があります。

その場合は、以下の手順により削減効果を算出してください。

- ① 既存GHP設備の仕様書にある冷房、暖房それぞれの燃料消費量（kW）を（ $\text{m}^3 \text{ N/h}$ ）に変換してください。

（算出式）

$$\text{燃料消費量(kW)} \times 860\text{kcal} \div \text{ガス熱量(kcal/m}^3\text{)} = \text{燃料消費量(m}^3 \text{ N/h)}$$

※ガス熱量(kcal/m³)は使用するガス種により下記の数値を使用してください。

い号プロパン：23,677、都市ガス13A：11,000、都市ガス12A：10,000

- ② ①で算出した燃料消費量(m³ N/h)を消費電力(kW)に変換してください。

（算出式）

$$\text{燃料消費量(m}^3 \text{ N/h)} \times 2.29(\text{kgCO}_2/\text{m}^3 \text{ N/h}) \div 0.433(\text{kgCO}_2/\text{kWh}) = \text{消費電力(kW)}$$

（①の算出結果）

※2.29(kgCO₂/m³ N/h)：都市ガスのCO₂排出係数

※0.433(kgCO₂/kWh)：電気のCO₂排出係数

- ③ 冷房、暖房それぞれについて、②で算出した消費電力(kW)に、仕様書に記載されている消費電力(kW)を加えた数値を、既存設備の「消費電力(kW)」としてください。

→「見込削減効果試算表（別記様式第2号）」の「1台あたりの消費電力」として入力してください。

※上記の手順を用いても削減効果が見込まれない場合は、補助対象外となります。

※GHPからGHPへの更新については、補助対象外となります。